

平成28年熊本地震における栄養活動（発災～7月22日現在）

■発生日時 平成28年4月14日（木） 21時26分 マグニチュード6.5

■発生日時 平成28年4月16日（土） 1時25分 マグニチュード7.3

平成28年7月22日作成

		フェーズ0（発災～24時間）			フェーズ1（24～72時間）			フェーズ2（4日目～）		フェーズ3（拠点避難所集約後～）		フェーズ4（仮設住宅後～）			
		4月14日 （前震）	4月15日	4月16日 （本震）	4月17日	4月18日	4月19日	4月20日～ （1週間）	4月28日～ （2週間）	5月8日～ （1か月）	～6月21日	6月22日～ （2か月）			
市 全 体 の 状 況	水			停止				4/21 市内全域通水開始（一部断水）	4/30 水道管復旧工事完了→市内全域で供給開始						
	ガス			停止				4/30 西部ガス・都市ガス全面復旧							
	避難所数	13時 (19時)	開設	226か所 ※4時	263か所	268か所	269か所	284か所	208か所 (222か所)	129か所 ★拠点避難所集約開始	42か所 (44か所)	41か所 (6/27時点) ★仮設住宅入居開始	23か所 (23か所) (7/21時点)		
	避難者数	13時 (19時)		26,164人 ※4時	53,461人 ※12時	84,492人	62,124人	49,123人	59,764人	11,171人 (13,436人)	3,947人	856人 (1,541人)	685人 (1,346人) (6/27時点)	461人 (838人) (7/21時点)	
想定される 栄養課題		食料確保・飲料水確保			支援物資到着（物資の過不足、分配の混乱） 食事に配慮が必要な方の食品不足（乳児用ミルク、アレルギー食、嚥下困難者等） 水分摂取を控えるため、脱水、エコノミー症候群			避難者の栄養過多、栄養不足、バランス悪化 食生活上の個別対応が必要な人の把握		物流回復したが、避難者の食事の簡便化等による栄養バランス悪化 生活習慣病の発症・悪化		食事の簡便化や、嗜好品の自己購入による栄養バランス悪化 生活習慣病の発症・悪化 活動量不足による肥満			
栄養・食生活 支援活動	物資				4/18～ 日本栄養士会に救援物資等要請（アレルギーミルク、離乳食等要望）			4/19～ 関係課（地域政策課）企業、団体とのやりとりにて必要物資要請及び対応 継続中 アレルギーミルク、アレルギー食、野菜ジュース等必要物資であるものの要望及び、外部から提供希望があった物資について対応 ※熊本県庁及び熊本県栄養士会と協力し、特殊栄養食品等食物資について情報交換、物資のやりとりを行う		5/19～熱中症対策の物資を全避難所に配布		物流の受け入れについて、物流管理の所管課（地域政策課・観光政策課）との調整 「うまよな」「アクアドーム」訪問・特殊栄養食確保、プッシュ型配送依頼		5/25～弁当配布について地域政策課から情報提供及び打ち合わせ 5/26～弁当スタート	
	健康支援				4/16～ 避難所における食生活把握及び個別支援活動（避難所巡回：333回（7/13時点））			4/18 熊本県栄養士会 ボランティア(JDA-DAT)派遣依頼 【4/22～28 JDA-DAT応援 延べ10人】		5/19～6/10 【拠点22ヶ所、指定・指定外30ヶ所】 避難所における食事提供状況アセスメント調査実施（拠点避難所だけでなく、指定・指定外にも調査拡大）		6/28～7/20 避難所における野菜補充を目的とした炊き出し実施（食生活改善推進員の協力） 【5避難所、延べ14回実施】			
					各避難所へ食事（備蓄食品）の組み合わせ方や衛生面注意呼びかけ等 避難所における啓発（ちらし、ポスター掲示）			4/26～食物アレルギーピブス等の配布		避難者が食品購入・外食する際、食事バランスのよいとり方等、食についての啓発					
					必要時には、各区役所において栄養相談対応 継続中			4/22 避難所生活における食中毒についてテレビ放送（4/18収録） ※厚生労働省 健康課 栄養指導室へ定時報告開始		5/12 厚生労働省栄養指導室長補佐 来課					
					4/18 厚労省から日本栄養士会へ 救援依頼										

※4/15と4/20の避難所数及び避難者数は市議会説明資料より。その他は災害本部対策会議資料より。